

	レベル		I	II	III	IV	V
定義	レベル毎の定義		基本的な看護手順に従い必要に応じ助言を得て看護を実践する	標準的な看護計画に基づき自立して看護を実践する	ケアの受け手に合う個別的な看護を実践する	幅広い視野で予測的判断を持ち看護を実践する	より複雑な状況においてケアの受け手にとっての最適な手段を選択しQOLを高めるための看護を実践する
看護の核となる実践能力	ニーズを捉える力	レベル毎の目標	助言を得てケアの受け手や状況(場)にニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)のニーズを自らとらえる	ケアの受け手や状況(場)に特性に踏まえたニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)を統合しニーズをとらえる	ケアの受け手や状況(場)の関連や意味をふまえニーズをとらえる
		行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集が出来る。 <input type="checkbox"/> ケアの受け手の状況から緊急度を捉えることができる	<input type="checkbox"/> 自立してケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報を基にケアの受け手の全体像として課題をとらえることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手に必要な身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から個別性を踏まえ必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 得られた情報から優先度の高いニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 予測的な判断のもと身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな側面から必要な情報収集ができる <input type="checkbox"/> 意図的に収集した情報を統合しニーズをとらえることができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況を把握し、ケアの受け手を取り巻く多様な状況やニーズの情報収集ができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の価値観に応じた判断ができる
	ケアする力	レベル毎の目標	助言を得ながら安全な看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)に応じた看護を実践する	ケアの受け手や状況(場)の特性を踏まえた看護を実践する	様々な技術を選択・応用し看護を実践する	最新の知見を取り入れた創造的な看護を実践する
		行動目標	<input type="checkbox"/> 指導を受けながら看護手順に沿ったケアが実施できる <input type="checkbox"/> 指導を受けながらケアの受け手に基本的援助ができる <input type="checkbox"/> 看護手順やガイドラインに沿って看護具術を用いて看護援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性を考慮しつつ標準的な看護計画に基づきケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に対してケアを実践する際に必要な情報を得ることができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手に状況に応じた援助ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性に合わせて適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズを察知しケアの方法に工夫が出来る <input type="checkbox"/> ケアの受け手の個別性をとらえ看護実践に反映ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の顕在的・潜在的ニーズに応えるため幅広い選択肢の中から適切なケアを実践できる <input type="checkbox"/> 幅広い視野でケアの受け手を捉え、起こりうる課題や問題に対して予測的及び予防的に看護実践ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の複雑なニーズに対応するためあらゆる知見(看護及び看護以外の分野)を動員し、ケアを実践・評価・追及できる <input type="checkbox"/> 複雑な問題をアセスメントし最適な看護を選択できる
	協働する力	レベル毎の目標	関係者と情報共有ができる	看護の展開に必要な関係者を特定し情報交換ができる	ケアの受け手やその関係者、多職種と連携ができる	ケアの受け手がおかれている状況(場)を広くとらえ結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め主体的に多職種と協力しあうことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	ケアの受け手の複雑なニーズに対応できるように多職種の力を引き出し連携に活かす
		行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手を看護していくために必要な情報が何かを考え、その情報を関係者と共有することができる。 <input type="checkbox"/> 助言を受けながらチームの一員としての役割を理解できる <input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアに必要と判断した情報を関係者から収集することができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の多様な価値観を理解できる <input type="checkbox"/> 連絡・報告・相談ができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手を取り巻く関係者の立場や役割の違いを理解しうえでそれぞれと積極的に情報交換ができる <input type="checkbox"/> 関係者と密にコミュニケーションを取ることができる <input type="checkbox"/> 看護の展開に必要な関係者を特定できる <input type="checkbox"/> 看護の方向性や関係者に状況を把握し情報交換できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手の個性化ニーズに対応するために、その関係者と協力し合いながら多職種連携を進めていくことができる <input type="checkbox"/> ケアの受け手とケアについて意見交換できる <input type="checkbox"/> 積極的に多職種に働きかけ協力を求めることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手が抱えている状況(場)を広くとらえ結果を予測しながら多職種連携の必要性を見極め主体的に多職種と協力しあうことができる <input type="checkbox"/> 多職種間の連携が機能するように調整できる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる	<input type="checkbox"/> 複雑な状況(場)の中で見えにくくなっているケアの受け手のニーズに適切に対応するために自律的な判断のもと関係者に積極的に働きかけることができる <input type="checkbox"/> 多職種連携が十分に機能するようにその調整的役割を担うことができる <input type="checkbox"/> 多職種の活力を維持・向上させる関わりができる
意思決定を支える力	レベル毎の目標	ケアの受け手や周囲の人々の意向を知る	ケアの受け手や周囲の人々の意向を看護に活かすことができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報提供や場の設定ができる	ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に伴うゆらぎを共有でき選択を尊重できる	複雑な意思決定プロセスにおいて多職種も含めた調整的役割を担うことができる	
	行動目標	<input type="checkbox"/> 助言を受けながらケアの受け手や周囲の人々の思いや考え、希望を知ることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の思いや考え希望を意図的に確認することができる <input type="checkbox"/> 確認した思いや考え、希望をケアに関連づけることができる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定に必要な情報を提供できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いが理解できる <input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意向の違いを他職種に代弁できる	<input type="checkbox"/> ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスに看護職の立場で参加し、適切な看護ケアを実践できる	<input type="checkbox"/> 適切な資源を活用し、ケアの受け手や周囲の人々の意思決定プロセスを支援できる <input type="checkbox"/> 法的プロセスおよび文化的配慮など多方面からケアの受け手や周囲の人々を擁護した意思決定プロセスを支援できる	